

参考資料

(1) 検討経緯

手引書作成にあたって、有識者による検討委員会の開催をはじめ、府内市町村へのアンケート調査、子ども施設へのインタビュー等を実施した。

	概要
子ども施設と地域との共生に向けた検討委員会	子ども施設と近隣住民との苦情・トラブルを未然に防止するための手引書の作成にあたって、有識者による検討委員会を設置した。 開催時期：平成 28 年 7 月～11 月 開催回数：4 回（うち 1 回は、各委員への個別訪問により開催）
府内市町村アンケート	大阪府内における苦情・トラブルの実態とその対策・対応を把握するため、大阪府内の全ての市町村を対象とする自治体アンケート調査を実施した。 調査時期：平成 28 年 7 月 調査対象：43 市町村（回収状況：43 市町村）
子ども施設インタビュー	子ども施設における近隣からの苦情・トラブル事例や、日常的に行っている配慮事項、手引書への記載事項についての意見等を把握するため、子ども施設を対象とするインタビューを実施した。 調査時期：平成 28 年 8 月～11 月 調査対象：6 施設
建築事務所インタビュー	子ども施設における近隣トラブル等の事例や、近隣への配慮に関する設計上の工夫、子ども施設と地域との共生における建築事務所としての関わり方等について把握するため、建築事務所を対象とするインタビューを実施した。 調査時期：平成 28 年 9 月～10 月 調査対象：5 建築事務所
自治体インタビュー	子ども施設における近隣トラブル等の事例を把握するため、自治体を対象とするインタビューを実施した。 調査時期：平成 28 年 9 月～10 月 調査対象：2 自治体

(2) 子ども施設と地域との共生に向けた検討委員会

① 子ども施設と地域との共生に向けた検討委員会 名簿

<委員名簿>

(敬称略・50音順)

◎委員長

氏名	所属・役職
安達 謙	一般社団法人 大阪府私立幼稚園連盟 理事長
阿部 昌樹	大阪市立大学 法学研究科 教授
亀井 信昭	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 保育部会 副部会長
小伊藤 亜希子	大阪市立大学 生活科学研究科 教授
◎農野 寛治	大阪大谷大学 人間社会学部 教授
橋本 典久	八戸工業大学 土木建築工学科、大学院社会基盤工学専攻 教授
前田 正子	甲南大学 マネジメント創造学部 教授

<オブザーバー名簿>

(敬称略・50音順)

	氏名	所属・役職
市長会	兼光 紀子	吹田市立江坂大池幼稚園 園長代理
	辻本 直美	高石市教育委員会 教育部 子育て支援課 係長
	戸崎 和之	枚方市 環境部 環境指導課 課長代理
町村長会	大植 信洋	能勢町 健康福祉部 福祉課 福祉係長
	尾谷 浩	千早赤阪村 教育課 課長代理
	仲谷 聡子	千早赤阪村 住民課 課長代理

② 子ども施設と地域との共生に向けた検討委員会 開催経過

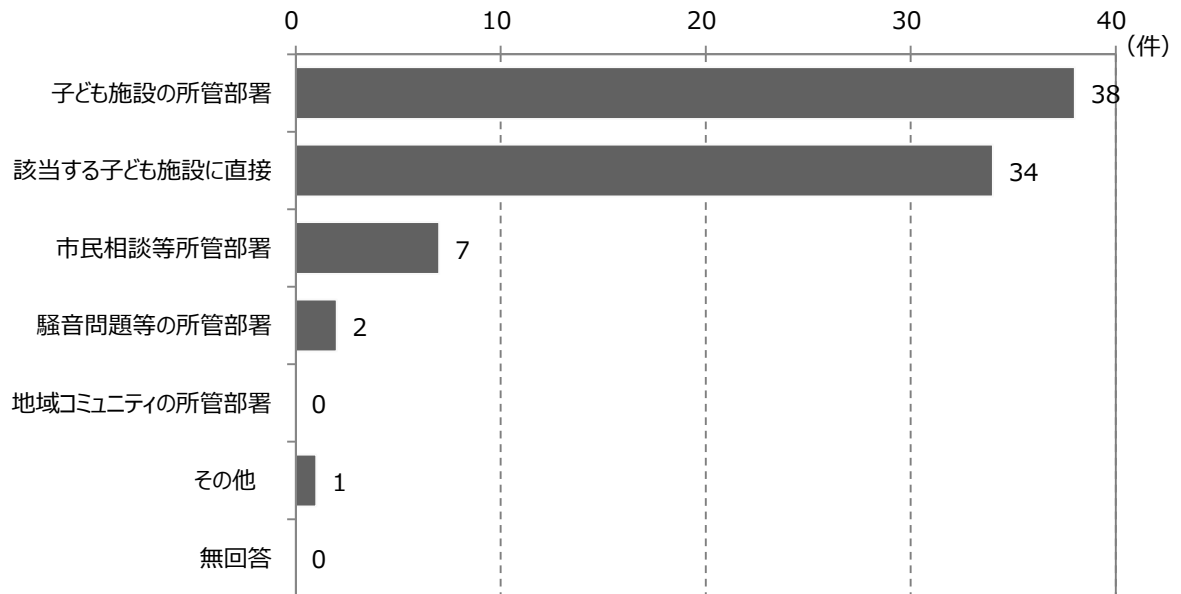
会議	開催日	内容
第1回	7月28日 (木)	(1) 事業実施概要について (2) 子ども施設と地域との共生について ①府内における子ども施設のトラブルの状況 ②子ども施設におけるトラブルと対応策等に関する意見交換 (3) 今後の予定について
第2回	各委員への 個別訪問に より開催	(1) 第1回委員会の要点について (2) 事例の収集について ①事例収集状況の報告 ②追加の事例収集の必要性と方法について ③その他、把握・紹介すべき事例について (3) 手引書の構成案について ①手引書の構成について（入れるべき事項、順序等） ②対応方策について ③トラブル防止等の○箇条について (4) 次回委員会について
第3回	10月20日 (木)	(1) 事例の追加調査について（報告） (2) 手引書（案）について ①手引書全体の構成について ②各部の内容について ③地域の方が読み手のひとりとなることへの配慮について ④その他 (3) シンポジウムについて
第4回	11月17日 (木)	(1) 手引書の修正案について (2) 手引書の表紙について (3) シンポジウムの内容案について (4) 今後の修正等の作業スケジュールについて

(3) 府内市町村アンケート調査結果

① 調査票A：市町村へのアンケート（回答 41 自治体）

■ 苦情等受信部署（複数回答（3つまで）, n=41）

問2 貴自治体では、子ども施設に対する苦情や近隣地域とのトラブルの連絡は、どの部署に入ることが多いですか？

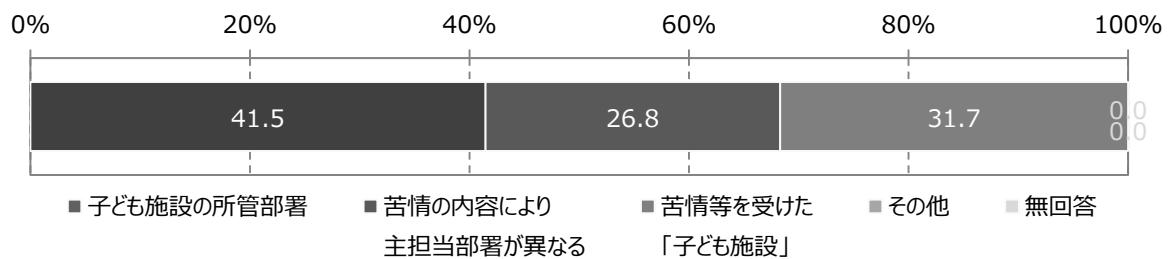


【「その他」内容】

- ・近隣地域とのトラブルがほとんどない。

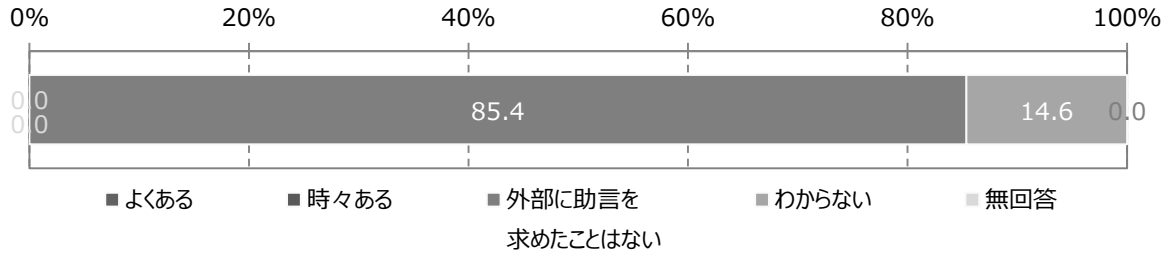
■ トラブル対応主担当部署（単数回答, n=41）

問3 貴自治体では、子ども施設に対する苦情や近隣地域とのトラブルの連絡があった場合、どの部署が主担当となって対応することになっていますか？



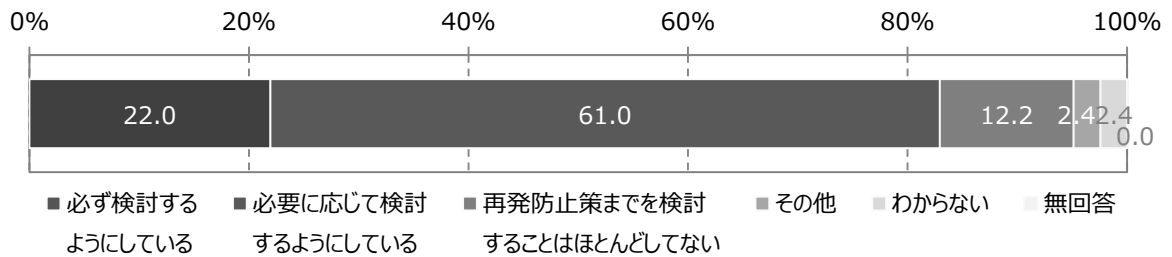
■外部専門家への相談有無（単数回答，n=41）

問4 貴自治体では、子ども施設からの音についての苦情や近隣地域とのトラブルに対応する場合、外部の専門家等に助言を求めることはありますか？



■再発防止対応策検討状況（単数回答，n=41）

問5 貴自治体では、子ども施設に対する苦情や近隣地域とのトラブルがあった場合、問題への対応後に、再発防止や未然防止に向けて庁内関係部署で対応策を検討するようにしていますか？

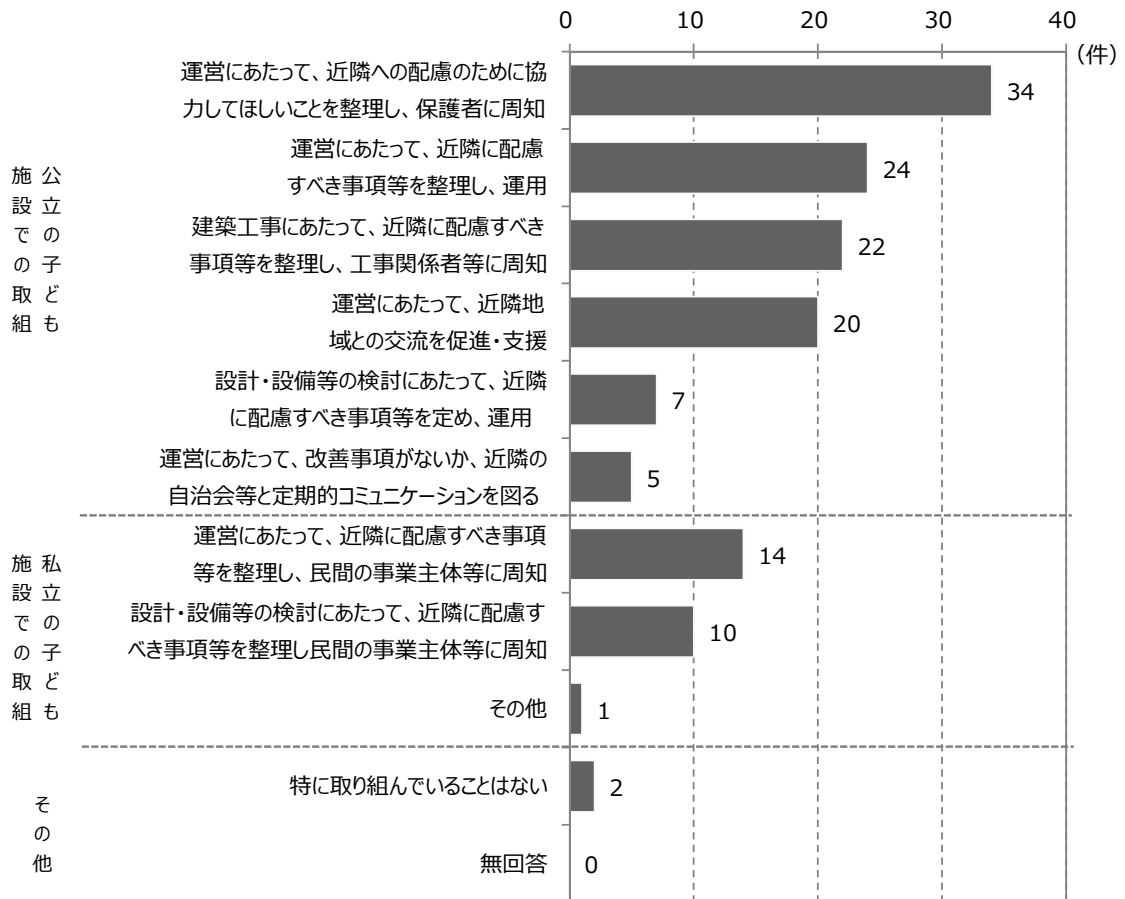


【「その他」内容】

- ・設問にある事案の発生はほとんどない。

■地域共生の取り組み状況（複数回答，n=41）

問6 貴自治体では、子ども施設に対する苦情や近隣地域とのトラブルを防ぎ、地域と共生していくために取り組んでいることはありますか？



【「その他」内容】

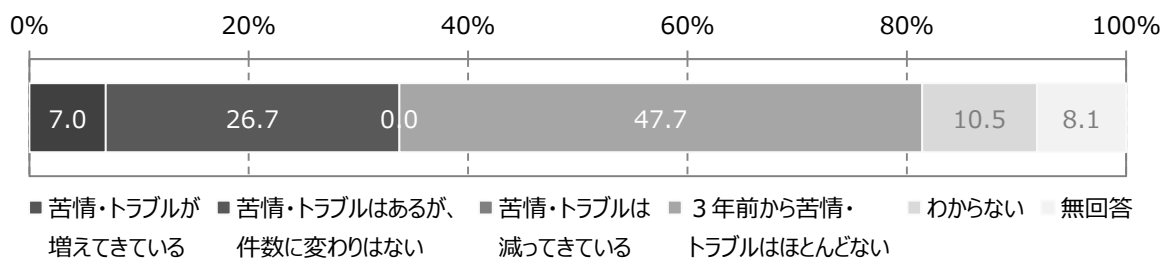
- ・施設の建設を行うにあたり、事業者に対し、工事説明会を開催する等近隣に十分な理解を得られるように指導している。

② 調査票B：市町村担当部署へのアンケート（回答 43 自治体・86 部署）

※担当部署：福祉、教育、環境

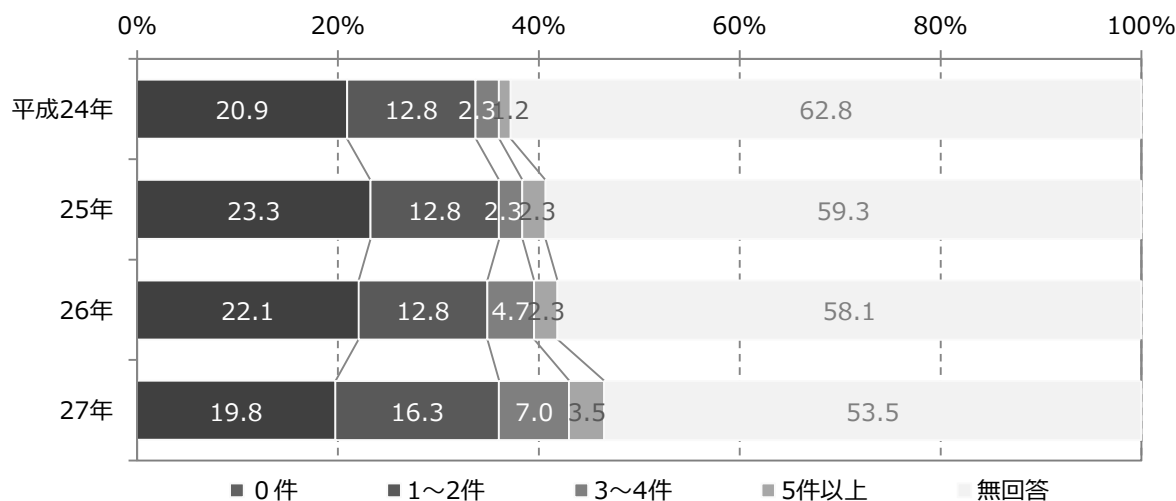
■トラブル発生傾向（単数回答，n=86）

問2 子ども施設に対する苦情や近隣地域とのトラブルの発生状況について
ご担当の部署では、概ね3年前と比べて、苦情等はどのような傾向にありますか？



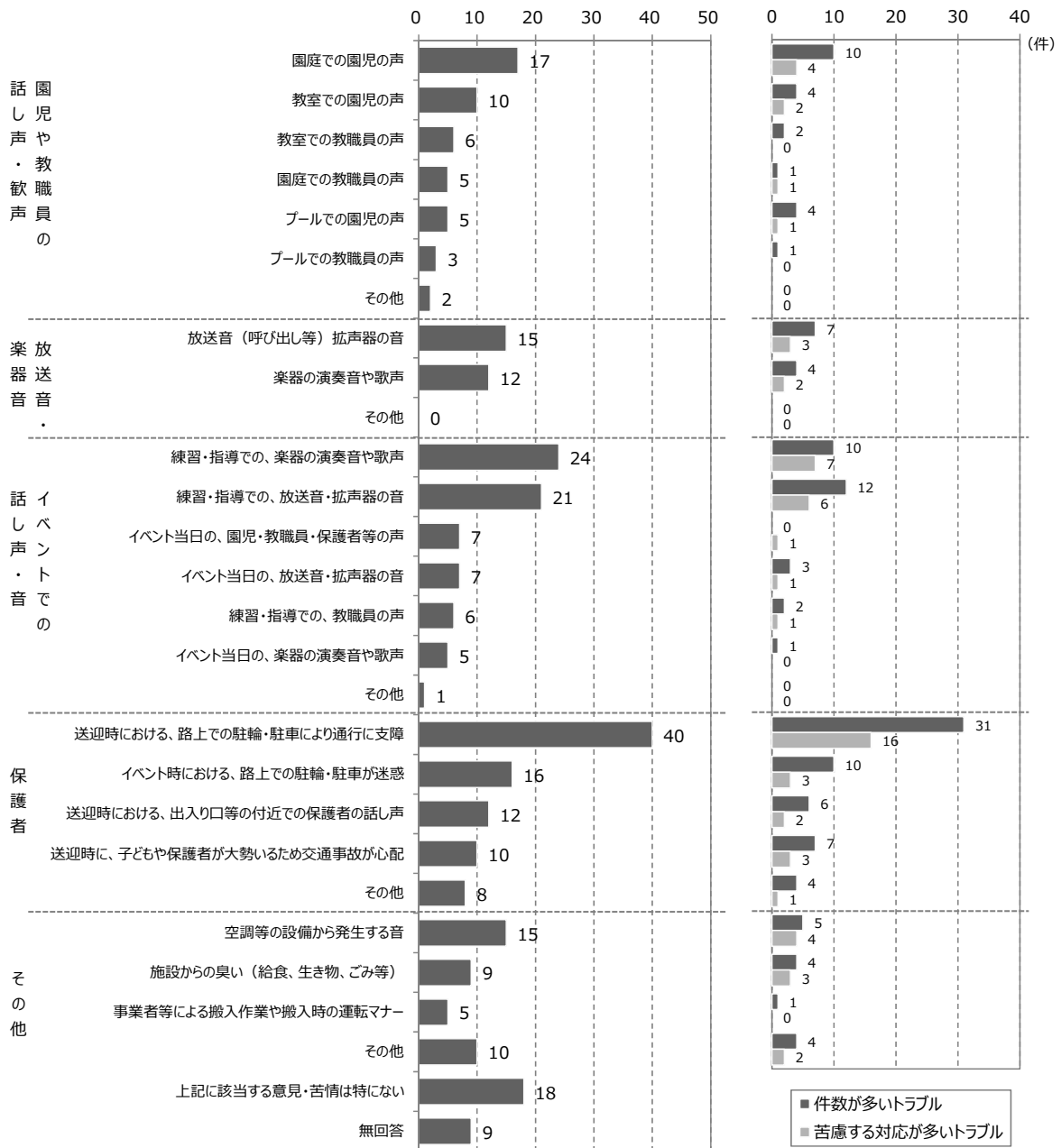
■トラブル件数（数値回答，n=86，数値で回答されたものを下記分類に集計）

問2 件数を把握していれば、ご記入ください。



■ 運営におけるトラブルの種類（複数回答，n=86）

問3 子ども施設（公立・私立を問わず）の運営について
 ご担当の部署では、概ね過去3年間（平成25～27年度）に、近隣住民からどのような「苦情」（施設に対して何らかの改善を求める個人的な意見）や「近隣地域とのトラブル」（近隣の町内会等、複数世帯の総意としての施設への改善申入れ等）がありましたか？
 問4 問3の選択肢（1～27）のうち、ご担当の部署において、①件数、②苦慮する対応、が多い項目を、それぞれ上位5つまで選び、番号をご記入ください。

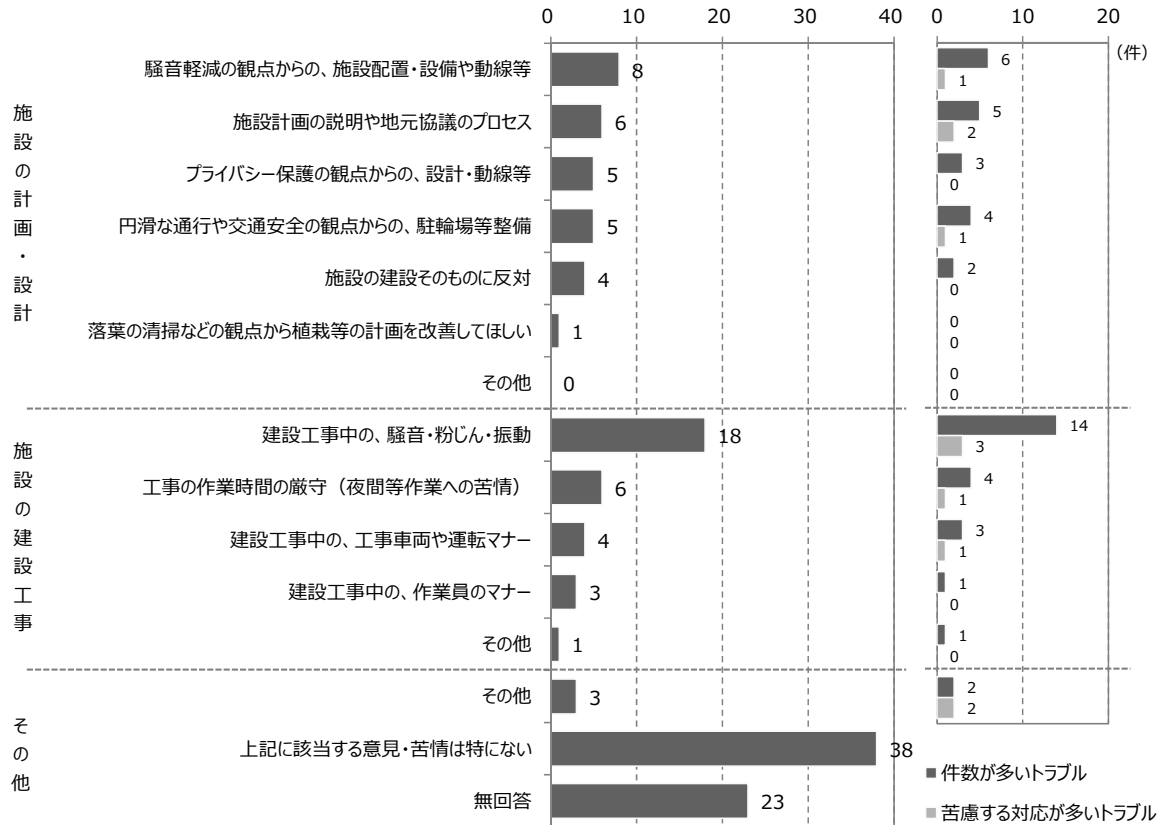


【「その他」内容】

職員の言葉づかいと接遇／ 保護者のマナー（園外にて喫煙による吸い殻のポイ捨て）
送迎時、駐輪場付近での職員の挨拶の声／ 園庭開放時の保護者の話し声
送迎時の交通状況／ 送迎車両のスピード／ 保護者の運転マナーの悪さ
送迎時の自転車マナー／ 歩道の通行で道をふさぎ通行に支障
バス運転手の運転、口調／ 送迎バスの運行について
園庭から砂が敷地内に入る／ 園庭からの砂埃／
園庭の落ち葉が風で溝に落ち水流に影響
雨天後、溝に水がたまるため蚊の発生が心配／
園庭の土が溝に流れないようにしてほしい
行事の焼き芋の煙／ 室外機の位置（熱気、臭い）／ 夜間照明が明るすぎる
飼育しているニワトリの鳴き声／ 業者点検時の点検雑音

■施設整備におけるトラブルの種類（複数回答，n=86）

問5 子ども施設（公立・私立を問わず）の整備（新規建設、建て替え等）について
ご担当の部署では、概ね過去3年間（平成25～27年度）に、子ども施設の整備に関して、
近隣住民からどのような苦情や、近隣地域とのトラブルがありましたか？
問6 問5の選択肢(1～14)のうち、ご担当の部署において、①件数、②苦慮する対応、が多い項目
を、それぞれ上位5つまで選び、番号をご記入ください。

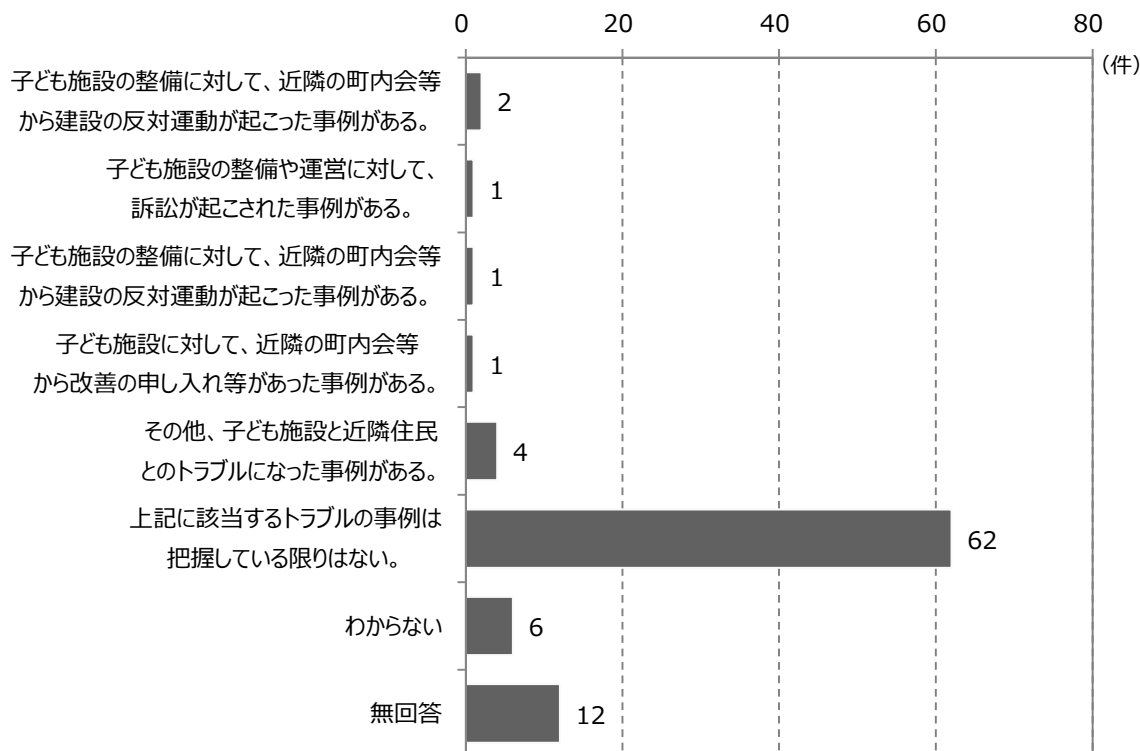


【「その他」内容】

工事現場からの排水 / 施設空調機器の室外機の騒音 / 園の前の白線が消えている

■トラブル事例の把握状況（複数回答，n=86）

問7 子ども施設（公立・私立を問わず）と近隣住民とのトラブルについて
 ご担当の部署では、概ね過去3年間(平成25～27年度)に、「近隣の町内会等、複数世帯の総
 意としての施設への改善の申し入れ等」などのトラブル事例を把握していますか？



本手引書は、国の平成 27 年度地域少子化対策重点推進交付金により、「子ども施設地域共生応援事業」として、大阪府が作成したものです。なお、下記事業者到手引書の作成検討業務等について、公募型プロポーザル方式により委託して実施しました。

受託事業者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社